



まちなか文学講座

代表者 | 住川 英明【教授】(地域学部)
 共同実施者 | 常村 護 (街づくり株式会社いちろく) 他
 連携先 | 街づくり株式会社いちろく

目的

この講座は、地域の人々にとっての歴史と文化のシンボルとってよい建物を会場とし、その建物を管理・運営する民間会社と連携して行う事業です。日本の古典文学・近代文学の作家や作品を取り上げ、師による読解と鑑賞の手引きによって、文学のすばらしさを味わい、地域の人々がともに意見を交わしながら、自分自身の生き方を考えるきっかけを提供しようとするものです。

取組み

鳥取市内にある国登録有形文化財である五臓圓ビル2Fギャラリーと隣接する宝林堂ギャラリーを使用して、5人の講師による4講座を開設し、講義及び演習(輪読など)を行いました。鳥取県東部を中心とする地域に居住する市民を対象として、年8回行う講座を2講座、年7回行う講座を1講座、年4回行う講座を1講座開講しました。その内訳は以下のとおりです。()内は、担当講師。①近代文化人の書簡(住川英明/鳥取大学地域学部・教授), ②近代文学(岡村知子/鳥取大学地域学部・准教授, 松本陽子/元大学講師), ③古典文学(田中仁/鳥取大学名誉教授), ④川柳(河原清夫/ふくべむら川柳)

成果

協働的な学びの場を提供することによって、地域の人々の学習意欲は高められ、そのことによって、大学の知が地域文化の高まりに一定の役割を果たしたものと思われます(平成23年度より継続実施)。平成31年度受講者数は49名(源氏9名, 手紙10名, 川柳11名, 近代文学19名)。受講者数は50名~60名の安定傾向にあり、実施後のアンケート調査では受講生の高い評価を得ました。内容も年度ごとに更新して実施しており、平成31年度も「鳥取県民カレッジ連携講座」として登録して実施しました。

今後の展開

令和2年度をもって、現在の連携先とは共同実施の関係を解消することとなりました。今後、新たな連携先を探すこととなります。感染症対策を踏まえた新しい生活様式が定着し、オンラインで開催できる環境が整えば、現在とは違った形態で開催できるかもしれません。地域価値創造研究教育機構の先生方のアドバイスをいただきながら、再開の方法を模索していきたいと考えています。

地域へのメッセージ

健康科学を中心として、様々な科学研究についての講座が開講されていますが、人文・社会科学の諸分野、特に文学に関する講座は意外と少ないようです。文化的な活動に熱心な熟年の方々だけでなく、若年の方々にも興味を持っていただき、様々な年代の方々に参加していただくための実施内容や形式について、ご意見をお寄せ下さい。